

## 日光白根山の火山活動解説資料（平成 28 年 12 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
12月6日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）を発表しました。予報事項に変更はありません。

### 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1）  
歌ヶ浜<sup>うたがはま</sup>監視カメラ（日光白根山の南東約13km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。
- ・地震活動（図2 - 、図3）  
日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。  
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図2 - ~ 、図4）  
GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図1 日光白根山 山頂部の状況  
(12月7日 歌ヶ浜<sup>うたがはま</sup>監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 1 月分）は平成 29 年 2 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。

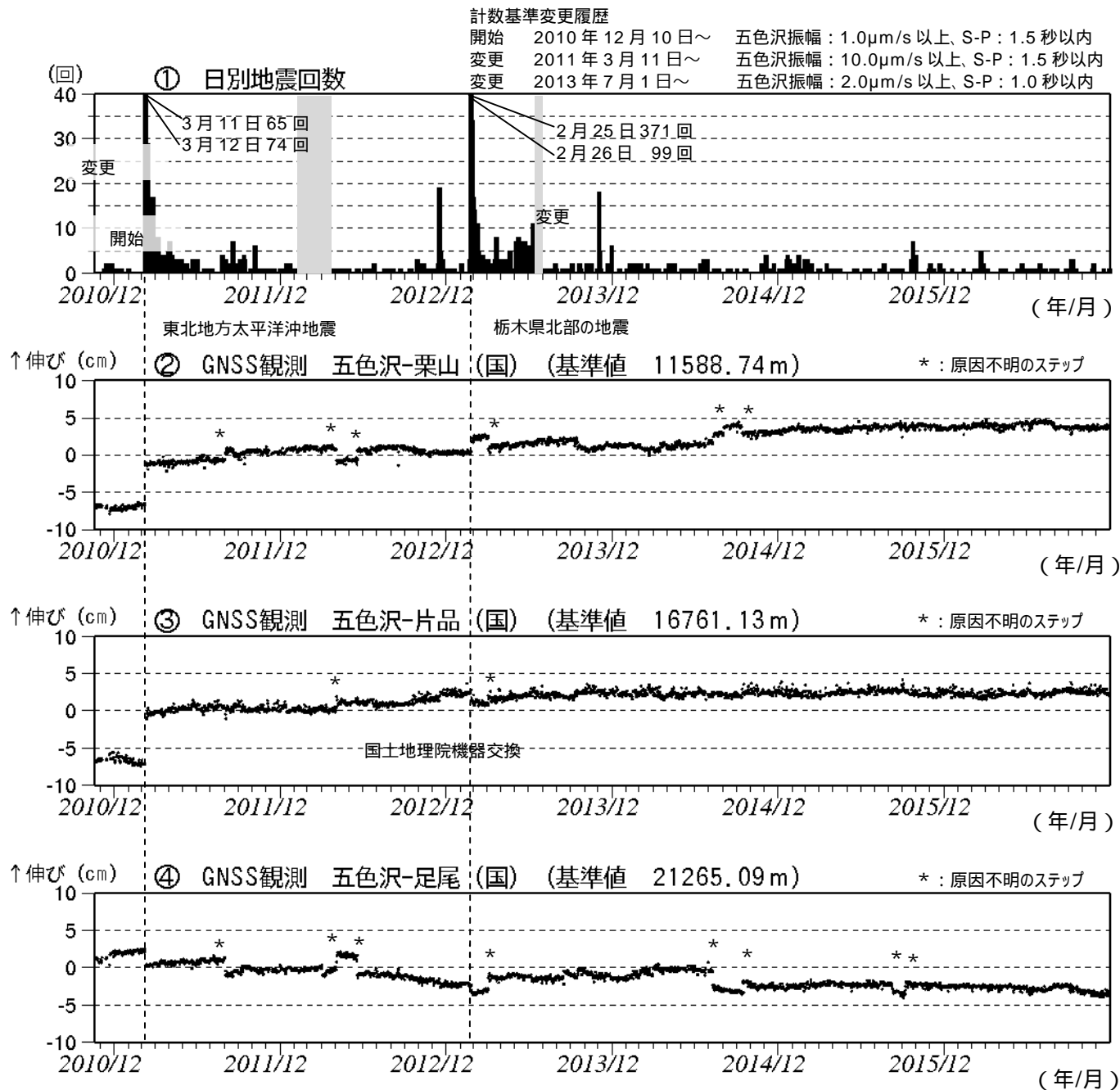


図2 日光白根山 火山活動経過図(2010年11月20日～2016年12月31日)

日光白根山周辺の日別地震回数 2010年12月10日観測開始

- ・グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示しています。
- ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。また、2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震以降、日光白根山の周辺で再び地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。
- ～ GNSS連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

五色沢観測点の運用開始日: 2010年11月20日

- ・グラフの空白部分は欠測を示しています。～ は図4の～ に対応しています。
- ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震の影響により、ステップ状の変化がみられます。

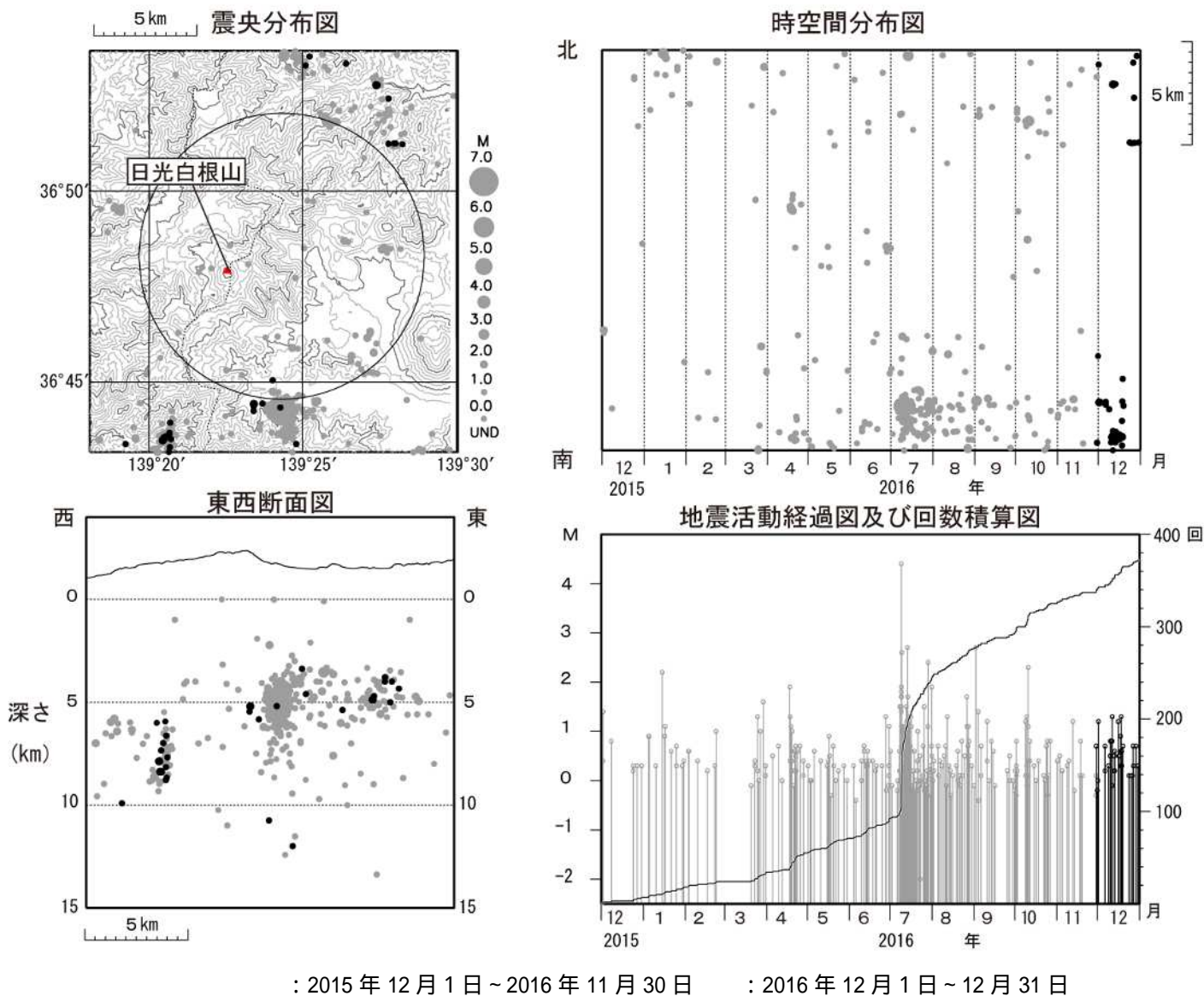
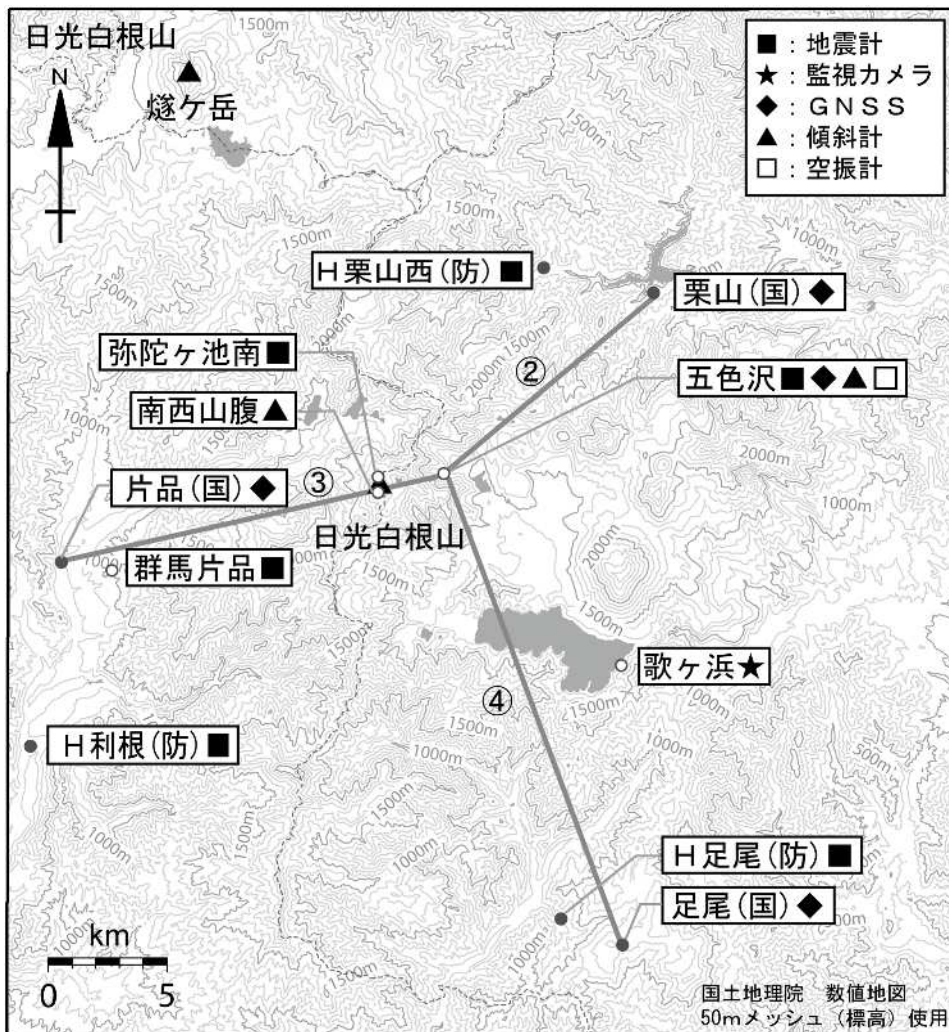


図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2015年12月1日～2016年12月31日)  
 ・震央分布図中の円は図2 - の計数対象地震(五色沢でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示しています。  
 ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。  
 ・震源の深さは全て海面以下として決定しています。  
 ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。  
 ・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所

図 4 日光白根山 観測点配置

・GNSS 基線 ~ は図 2 の ~ に対応しています。

弥陀ヶ池南、南西山腹：12 月 1 日運用開始